

2020年
教室だより
7月号



公文式
本市場教室・横割教室
ゆきこくもん 検索
<http://www.yukiko-kumon.com>

公文式本市場教室 火3時~7時 木2時30分~6時30分
Tel.61-4936(上平方)
横割教室 月・水 3時~7時 Tel.090-2260-0671
Eメール:yvonne-yukiko@mbl.nifty.com
携帯7対1:yvonne-1682-yukiko@docomo.ne.jp
指導者:新妻ゆき子 携帯090-2260-0671

継続は力なり

コロナ禍で自粛生活を強いられてはや3カ月になりました。日差しも日増しに強くなり、疲れも少したまってきて、この時期に私たち大人も、新しい環境に慣れた頃にふと気づくと、疲れとともに緊張がまだ残っているんだな、と感じる時がありますね。お子さま方が新しい習慣に慣れようとして、緊張がまだ残っているような時こそ、大人がちょっと意識しておきたいのは「ひとつのことができる」と、「それを続けられる」のは別な力が必要である、ということです。例えば赤ちゃんが一人で立ち上がり、歩き続けられるようになるまで、またもう少し大きくなって歯磨きを教わってからそれが習慣になるまで、のように「ひとつのことができる」ようになって、「それを続けられる」ようになるのに、だいたい100日程度はかかるのだそうです。この時期のお子さまを見ていると、毎回くもんの教室に通い続けてくれていることはとてもうれしく、素晴らしいことだと感心しています。「継続は力なり」のまた新たな一步を、今後も教室でも見守ってまいりたいと思います。依然としてコロナ禍は続きそうですが、規則正しい生活をしっかりして感染しないさせないよう、決められたことをしっかり守り、乗り切っていくしかありません。

どうか皆様の御協力をよろしくお願いいたします。

公文式の創始者・公文 公（くもん とおる）先生の言葉より

“幼児期からの「ことば」の働きかけで能力の土台を作る”

早い時期から学ぶ力をつけた子どもたちの、その力のもとになっているのは「ことば」です。

ことばを自分のものにした子どもたちは、さまざまなものに興味をもち、レベルの高い学習に挑戦していきます。自ら積極的に本を読み、新しいことばを知り、さまざまな知識を吸収していける子どもは、確実に能力を伸ばしています。文章を正しく読み取り、本から学ぶことのできる力、すなわち読解力はすべての学習の基礎になります。「ことば」は一度身につけたら、生涯自分の力になります。

速く文字が読め、早く内容を理解できることは、学校での勉強だけでなく、さらに多くの、より幅の広いジャンルの本を読むことを可能にします。そして本を読んで学べる力は、社会に出てからも考える力、生きる力として活かされます。これは人生においてもっとも得なことだといえます。

けてあれもこれもと学習させる無駄を省くために制作されたのが公文式教材です。

| July 7 2020 | | | | | | |
|-------------|-----|-----|-----|------------|--------------|----|
| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
| | | | △1 | □2 | 3 | 4 |
| 5 | △6 | □7 | △8 | □9 | 10 | 11 |
| 12 | △13 | □14 | △15 | □16 | 17 | 18 |
| 19 | △20 | □21 | △22 | □23 角の日 | 24 スゴ一ツの日 | 25 |
| 26 | △27 | □28 | △29 | □30 | 31 | |

本市場教室日□

横割教室日△

保護者様へお願い。

お休みのときは電話でもメールでも結構ですので連絡をお願いします。

7月分の会費引き落としは6月29日（月）です。よろしくお願いいたします。

(注)休会・退会の場合は、引き落としの関係から15日までにお申し出下さい。

教室からご家庭に連絡される生徒さんの場合は固定電話・指導者携帯電話・メール等はいずれも10円納入願います。

*学習終了後、学校の宿題をやってもかまいませんが、おしゃべりしたり、だらだらやる子は、即退出してもらいます。ご了承ください。

*ゆき子の一言コラム

コロナウィルスが蔓延（まんえん）しています。

教室へ来る前に家で体温を測りましょう！

体温が37.5℃以下なら大丈夫です。体温がそれ以上の方は公文をお休みして在宅学習をお願いします。

教室へ入るときは、必ず「マスク」をしてください。ない人は申し出ていただければマスクを差し上げます。

備え付けのアルコールで手洗い消毒してください。

深刻なゲーム障害

最近では新型コロナウイルス感染症による外出自粛や休校の影響もあり、未成年者を中心にゲーム依存の深刻化が問題になっています。ゲーム障害は世界中で社会問題化しており、世界保健機関（WHO）が2019年5月、新たな依存症として認定しました。自制ができなくなり衝動が抑えられず、日常生活よりゲームを優先し、健康に問題を生じても続ける特徴があり、学業や仕事などに重大な支障をきたす症状が一定期間続きます。症状が軽いうちに、子どもの自尊心傷つけない様細心の注意をしながら、医療機関か民間支援団体に相談を受けるべきです。

ゲーム依存症の特徴と症状

ゲーム依存症の医学病名は「ゲーム障害」と言います。

本人や周囲の人々も『ゲームにはまっている』と気軽に考えているうちに進行してしまうのが、ゲーム障害という病気です。

最初は：「ちょっとした楽しみ」「友人や家族から誘われたから」「息抜きに」

と始めたゲームが、段々と「いつでもどこでも出来る手軽な気分転換」の手段となることが多いです。

特に、インターネットに接続されているオンラインゲームの場合、ゲームが絶えずアップデートされ、ゲームに終わりがありません。また、一緒にプレイする仲間や敵がおり、そこに対人関係や競争が生まれます。このようにゲームに加え、対人要素が依存性を益々高めています。

そのうちに・・・

- ① ゲームをするために睡眠や学業の時間を削る
- ② 食事中や他人との会話中にもゲームをする
- ③ 体調不良が起こる
- ④ ゲームのことを注意されるとイライラする

など健康、生活リズム、人間関係、社会生活への影響が起こりはじめます。

ゲーム依存症の特徴と症状

ゲーム依存症（ゲーム障害）の代表的な症状には以下のような症状があります：

ゲームに関する行動（頻度、開始・終了時間、内容など）がコントロールできない

ゲーム優先の生活となり、それ以外の楽しみや日常行う責任のあることに使う時間が減る

ゲームにより個人、家族、社会、教育、職業やそのほかの重要な機能分野において著しい問題を引き起こしているにもかかわらずゲームがやめられない

ゲーム障害の診断には医師の診察が必要です。上記症状がある方は、手遅れにならないうちに医療機関にかかりましょう。

- ① はきものはきちんとそろえよう！
- ② あいさつは おおきなこえで はっきりしよう！
- ③ もちものには なまえ をかきましよう！
- ④ でんわをかりたら かならず でんわ代10えんいれてください！